

順天堂練馬病院と連携した自殺未遂者支援事業の概要

1 現状と課題

- ・ 直近 5 年間に於いて区の自殺者全体のうち未遂歴のある人の割合は20.2%である。
- ・ 自殺未遂者は自殺の再企図が多く、自殺のリスク要因を解決・低減するための支援が必要。
- ・ これまで救急病院との連携は、病院の判断による区への情報提供にとどまっており、適切な支援を行うための体系的な体制整備が必要。

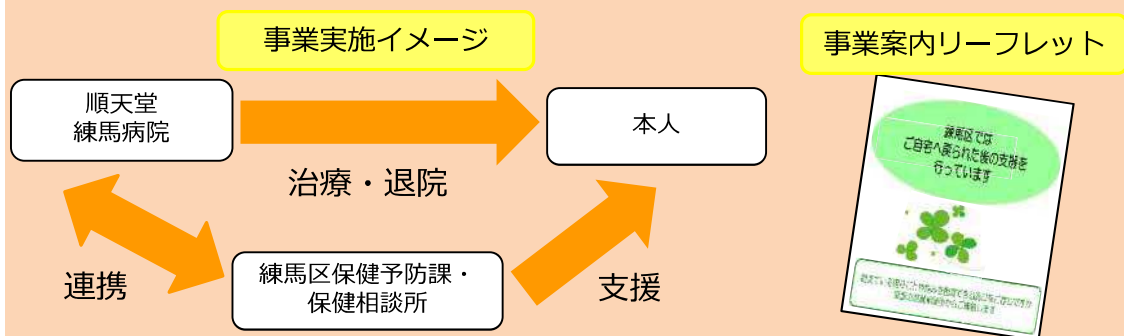
2 連携協定の締結

- ・ 三次救急医療機関である順天堂練馬病院と区で「順天堂大学医学部附属練馬病院の運営に関する協定細目」に基づき、地域医療施策への協力として自殺未遂者等支援事業に係る連携協定を令和 6 年 3 月に締結した。

3 連携した取組み

①事業内容

- ・ 順天堂練馬病院に救急搬送された方やその家族に対し、病院のスタッフが事業案内リーフレットにより区の支援事業を案内し、ご本人やその家族の同意を得られた場合に、区に情報提供を行う。
- ・ 区は情報提供を受けプッシュ型で、保健師・地域精神保健相談員がご本人やその家族の相談に応じ、関係機関につなぐ。



②支援方法

- ・ 保健師・地域精神保健相談員は、ご本人やその家族の困りごとを丁寧に伺い、信頼関係の構築を図る。
- ・ 必要に応じて、精神科への受診を勧めるほか、困りごとに適した各専門機関を案内する。切れ目のない支援のため、同行等を行う。
- ・ 関係機関からの助言を踏まえて各保健相談所で支援方針を決定し、モニタリングを行い支援の進捗管理を行う。
- ・ 支援者のスキルアップのため、精神科医や自殺対策に取り組んでいるNPO法人等の職員を講師として招き、事例検討会を開催する。



令和6年度 順天堂練馬病院と連携した自殺未遂者支援事業の実績

1 実績

支援件数 60件

【内訳】

(1) 男女別

女性	男性
45	15

→女性が占める割合は75.0%

(2) 年代別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
11	13	12	11	5	2	4	2
18.3%	21.7%	20.0%	18.3%	8.3%	3.3%	6.7%	3.3%

→若年者（10代・20代）が占める割合は40.0%

(3) 手段別

薬物	首つり	飛び降り	練炭	リストカット	その他
47	3	2	2	2	4

〈その他内訳〉・スイセン摂取・ピアスで前腕を自傷・ボタン電池を飲込む・アルコール多量摂取

(4) 未遂歴の有無

あり	なし	不明
32	23	5

→53.3%が未遂歴あり

(5) 背景別

家族問題	勤務問題	健康問題	学校問題	交際問題	経済・生活問題	その他	不詳
31	13	12	9	6	6	3	4

※ 複数の背景を持つ方がいるため、背景別件数の総数（84）は支援件数（60）と一致しない

(6) 精神疾患の有無

（内訳）疑い含む

* 支援件数（60）に対する割合を記載

有	無	不明	気分障害（うつ、双極性障害）	32	53.3%
51	8	1	統合失調症	10	16.7%
※ 順天堂練馬病院入院中の診断結果を集計 ※ 複数の精神疾患を持つ方がいるため、（内訳）の総数（66）は支援件数（60）と一致しない			境界性パーソナリティ障害	3	5.0%
			ADHD（注意欠如・多動性）	3	5.0%
			アルコール依存症(2) 解離性障害(2) 不眠症(2)	6	10.0%
			自閉症スペクトラム(1)パニック障害(1)学習障害(1)気分変調症(1)自閉症(1)性同一性障害(1)摂食障害(1)素行症(1)知的障害(1)発達障害(1)不安症(1)複雑性PTSD(1)	12	20.0%

(7) 支援経過

* 支援開始から概ね6か月後の支援経過を記載

支援継続中	24
支援継続中（相手からの連絡待ち）	17
支援終了（地域の関係機関につながった）	8
支援終了（かかりつけ医中心に支援）	2
支援終了（転出）	3
支援終了（本人、または家族の希望）	3
支援につながらなかった	3

〈支援につながらなかった3名の内訳〉児相の介入(1) 電話不通、訪問に応答なし(1) 相談希望取り下げ(1)

2 考察

- ・女性が占める割合は75.0%であり、女性が多い。
- ・若年者（10代・20代）の占める割合が40.0%となっており、若年者が区の支援につながるきっかけとなっている。